

「新しい力強い鹿児島」の実現を目指して

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

我が国は、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進行、経済のグローバル化や技術革新の急速な進展などにより、社会のあらゆる面で大きな変革期を迎えています。

各地域においては、その特性を生かした「地方創生」の取り組みが進められており、地域活力の維持・向上のために、移住・定住・企業誘致などにおいて地域間の競争が激化しています。

本県も、こうした変革の渦中にあることにほかならず、まさに現在は、鹿児島島の将来にとって重要な時期となっております。

こうした中、私は、「県民が主役の県政」を行うために、「知事と語ろう車座対話」をはじめとした様々な機会や、県民の皆様のお話を直接伺うとともに、子育て支援と高齢者の生き生き支援を重点施策の二本柱として、子育て世代が安心して子どもを産み育て、高齢者がいきいきと安心して暮らせるよう、住民税非課税世帯の未就学児を対象とした医療機関等における窓口負担無料化、高齢者に積極的に外出していただくための高齢者を対象とした県有施設の入館料の無料化などの取り組みを進めてまいりました。

併せて、川内原発に係る防災対策の充実・強化については、今後とも全力で取り組みながら、本県の多様で豊かな自然を活用し、再生可能エネルギーを推進することで、原発に頼らない社会づくりに向けた歩みを少しずつ進めてまいりたいと考えております。

さて、いよいよ明治維新150周年の節目となる記念すべき年を迎えました。西郷隆盛の生涯を描くNHK大河ドラマ「西郷どん」の放送も始まります。国内外からの注目が集まるこの好機を最大限に生かすために、昨年から「かごしま明治維新博」として大々的なプロモーション・イベントを展開してまいりましたが、来る5月には、歴史的な大きな式典として「明治150年記念式典（仮称）」を開催したいと考えております。幕末という時代の大きな変革期にあつて、未知の時代を切り拓いてきた先人たちの志と行動力など明治の精神を学び、官民一体となったオール鹿児島で、明治維新を成し遂げたあの自信と勇氣にあふれる鹿児島を取り戻す機運を盛り上げていきたいと考えております。

奄美の世界自然遺産登録については、夏頃にはユネスコの世界遺産委員会において、登録の可否が決定される予定です。登録されれば、本県は屋久島と合わせ2つの世界自然遺産を持つ唯一の県となりますので、このセールスポイントも生かし、観光客の増加につなげてまいりたいと考えております。

また、昨年は、第11回全国和牛能力共進会宮城大会において、鹿児島黒牛が悲願の「和牛日本一」の栄冠に輝きました。

本県は、このように歴史・文化をはじめ、魅力ある観光資源や多様な「日本一」、豊かな自然、安心・安全で豊富な「食」など、国内外に誇れる多くの魅力や強み「ポテンシャル」を有しております。これらのポテンシャルをあらためて認識するとともに、さらに磨き上げるにより、県勢発展に役立てていくことが可能となります。こうした考えの下、本年3月には新たな県政ビジョンを策定し、「鹿児島島に生まれてよかった、鹿児島島に住んでよかった」と実感できる鹿児島島をつくってまいります。

引き続き、時代の変化に的確に対応しながら、新しい力強い鹿児島の実現を目指して全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様の御支援・御協力をお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い年でありますことを心から祈念いたします。



平成三十年 元旦

鹿児島県知事 三反園訓

